opusdei.org

黙想の祈り:待降節 第2水曜日

黙想のテーマ:「疲れと落 胆」「柔和と謙遜」「主の軛 を負うことはやさしい」。

疲れと落胆

柔和と謙遜

主の軛を負うことはやさしい

今日のミサの福音書は、弟子たちに 対するイエスの慰めに満ちた招きを 取り上げています。「疲れた者、重 このような状況においては、イエスがマニヤの友人たちの家を訪ねたときや、弟子たちに「さあ、あってもがただけで人里離れた所へでいる・1)と言ったときのようにするが、と言ったとます。たとえばやといます。たりな睡眠時間を確保し、運動や長いで変気を入れ替え、体力を補充することが考えられます。

上記に加えて、主は、ご自身が私た ちの憩いの場となるよう望んでいま す。「疲れた者、重荷を負う者は、 だれでもわたしのもとに来なさい。 休ませてあげよう」 (マタイ11・ 28)。「イエスは、私たちを招き、 知り、憐れみます。さらにイエスは 私たちに、自己を捧げ、約束と友情 を与え、親切にし、私たちを悪から 救い、慰めます。しかしそれだけで はありません。イエスは私たちにご 自身を、食べ物、パン、エネルギー と命の源として与えますしい。神は 私たちに、祈りと賛美において私た ちが魂の安息を見出すことができる ことを思い出させてくれます。

イエスは続けて、人生の困難の中で 安息を得る秘訣を明らかにします。 「わたしは柔和で謙遜な者だから、 わたしの軛を負い、わたしに学びな さい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる」(マタイ11・29)。主は私たちが、神に由来しない重荷を肩に背負わないために、主の謙遜と柔和に一致するよう、招きます。

キリスト者の謙遜とは「私のために 自らを低くする神に倣うこと | で す。「その神はあまりにも偉大ゆ え、自ら私の友となり、私のために 苦しみ、私のために死んでくれま す。これこそ、私たちが学ぶべき謙 遜、神の謙遜です| [z]。この謙遜に 近づくために、聖パウロは実践的な 助言を与えています。それは、常に |相手を自分よりも優れた者と考 え」て(フィリピ2・3)行動するこ とです。イエスはまた、謙遜に加 え、柔和という点においてもご自身 を倣うよう私たちを招いています。 それは、暴力的にならず、愛と親切 をもって人と接する、柔和な精神で すぼ。イエスは、真福八端の教えに

この待降節に、イエスの謙遜と柔和 に倣う恵みを主に願いましょう。そ うすることで、私たちは自分の住む 環境、家庭、仕事場を平穏と平安守 満たすことができるでしょう。そう すれば、主が私たちに安息を与えて くれるように、私たちもまた他の 大々に安息を与えることができま す。

「わたしの軛を負い、わたしに学び なさい (マタイ11・29) という、 一見逆説的な教えをもって主は話を 結びます。イエスは休息について、 安らぎを得ることについて話しま す。そして軛を負うよう諭します。 この「『軛』とは何でしょうか。荷 を重くするのではなく軽くし、押し つぶすのではなく引き上げてくれる 『軛』とは何でしょうか。キリスト の『軛』とは、愛の律法です。キリ ストが弟子たちに残されたおきてで す(ヨハネ13・34、15・12参照)。人 類の傷(それには、飢餓や不正と いった物質的な傷もあれば、誤った 幸福観がもたらした精神的・道徳的 な傷もあります) をいやすまことの 薬は、兄弟愛に基づく生活の規則で す。この兄弟愛は神の愛から発しま す。だから、傲慢と暴力の道を捨て なければなりません。傲慢と暴力の 道は、より強力な権力ある地位を手

にして、是が非でも成功するために 用いられます」₅。この道を捨てな ければなりません。

イエスは相互交換を提案します。す なわち、私たちの重荷をイエスの手 に委ねる一方、私たちはイエスの軛 を負うということです。キリストの 軛、すなわち、降誕から十字架、そ して復活へと続くキリストの歩み は、決して不可能でもつらい道でも ありません。「神のみ旨を完全に受 け入れるなら、必ず、喜びと平和、 つまり十字架の幸いを得る。その時 こそ、キリストのくびきは快く、そ の荷は軽いことが理解できるのであ 3 | TOTO

待降節において、私たちは、神がマリアをご自分の母に選ぶ際、マリアの謙遜に目を留められたことを観想します。マリアは、その謙遜と柔和さにおいて、神に倣う最良の模範です。「『権力ある者をその座から引

き降ろし、身分の低い者を高く上げ…』と聖マリアは主の力を褒め称えます。『身分の低い、この主のはしためにも目を留めてくださったからです。今から後、いつの世の人もわたしを幸いな者と言うでしょう』と。神の謙遜を目の当たりにした聖マリアは、その汚れない心ゆえに聖なる者となりました」[7]。

- [<u>1]</u> 聖パウロ六世、説教、1977年6月 12日。
- [2] ベネディクト16世、演説、2011 年4月3日。
- [3] 参照:ベネディクト16世、演説、2011年4月3日。
- [4] フランシスコ、使徒的勧告『喜びに喜べ』、72番。

- [5] ベネディクト16世、「お告げの 祈り」のことば、2011年7月3日。
- [6] 聖ホセマリア『道』758番。
- [7] 聖ホセマリア『神の朋友』96 番。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/meditation/mokusou-taikousetsu2-suiyou/(2025/12/16)